

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

④ 「現実」と「理想」を、「具体と抽象」で引き受けている人がいる?!

I：ところで、せっかく?心機一転、新たな形で始めている、この「I D 問答」ですが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大のことで気が滅入っていることもあり、なかなか前向きな問答意欲?が出て来ませんね?少しは、収束(終息?)に向かってはいるようですが…?

D：そうですね!いずれにしても、私からすれば、そうした社会(世間?)のことについては、あまり深入りはせずに(しても、自らの無力が嫌になる?)、もう一つのシリーズ(「教育協働への道」)もありますので、こちらでは、どちらかと言えば、非(超?)日常的なテーマの方がよいですねえ?!

I：おそらく?そういうこともあって、今回、このようなテーマを掲げたのですが、実は、先日、行きつけの「岬公園?」の一角で、ギターの練習をしている中年?男性がいたのです。まさしく、自らの世界(時間)を楽しんでいられるようでした!私は、一服したかったこともあって、その人が演奏している階段の後ろ近くに座ったのですが、すぐにその人は、私の方を振り向いたのです!

D：ということは、邪魔をしたのですかねえ?

I：否、そういうことではなかったと思います!ただ、後ろの方で、誰かが自分の演奏を聞いていることが気になり、振り向かれたのだと思います!

D：それでどうなったのですか?

I：譜面を見ながら、丁寧に(とつとつと?)弾かれていたのですが、驚いたことに、その曲は自作のものだということでした!「歌詞はないのですか?」と咄嗟に尋ねてみたら、「ない!」ということでした!自作の曲であれば、普通は歌詞もあるだろうと思ったのですが、そうではなかったのです!

D：いわゆる「シンガーソングライター」だと思ったのですね?

I：そうなんです!しかし、ただそれだけでしたら、ここで話題にすることもないのですが、その人は、「私は『抽象』が好きで、『具体』は好きではない!だから、歌詞はない!」、そう答えたのです!「曲」は抽象で、「詩」は具体という、彼の説明(理論?)に、何故か興味を覚えたということですよ!

D：音楽についての難しいことは分かりませんが、そこに、彼の人生観(価値観)があるのではないかとということですね?!つまり、「具体」は嫌いで、「抽象」が好きという人生観(価値観)、その背後に何かあるのではないかとということですね?!

I：まさに、そうなのです!例えば、「具体」というのは、ある種の「現実」、そして「抽象」は「非現実(理想?)」、そういうことになるのでしょうか?要は、「現実」というのは、彼にとっては、あまり見たくないもの、あるいは思い出したくないもの、そういうようにも思えるのですが…?

D：なるほど、そういうようにも言えますか?!若い時に、ある意味理想に燃えて、仕事あるいは活動に打ち込んで来たものの、やがて、そこにある厳しさ(醜さ?虚しさ?)に負けてしまった?

I：ひょっとしたら?学生運動等に足を突っ込み、結局は潰れてしまった?見たくない世界を見せつけられてしまった?だから、「現実」=「具体」は嫌い(遠ざけていたい?)、逆に、「非現実(理想?)」=「抽象」は好き(自らの世界あるいは思いの中に居れる?)、ということなのかもしれませんね?!

D：まあ、私たちには、そういうようにも思えるのかもしれませんが、ひょっとしたら、純粹に?音楽の世界では、「曲」と「詩」の関係は、まさに「抽象」と「具体」の関係なのかもしれませんよ?逆に言えば、「詩」がつくことによって、その「世界(時間)」は、ある特定の「場所(光景)」あるいは「心情(物語)」を指すことになる?!だから、作曲者自身は、その「特定」を敢えてやらない?その特定は、それぞれの聞き手に委ねる?そういうことかもしれませんね?!あるいは、ただ単に、その音の世界(メロディー)が楽しい?そういうことかもしれませんよ?! (つづく)